

## センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 まなびパークたじみ 4F TEL 0572-23-3455 FAX 0572-26-8813

## 指導日誌より

## = 土岐地区 =

土岐市駅前、寒い中バイクで友人を待つ少年がひとり。安全運転で帰るようにと声をかけました。宝島土岐店では前回盗難の話がありましたが、その後は特に被害はないとのこと。売場を変える等の工夫がしてありました。(2/4 泉 9)

中学生の下校と重なり、大勢に声を掛けることができた。笑顔で応えてくれる子が多かった。5時過ぎに公園で遊んでいた小学生 2人に声をかけたら、元気な返事があり帰っていった。(2/12 妻木 3)

天気がよく、少し暖かかったためみんな元気よくあいさつをしてくれた。朝は凍っていて転倒する子もいたようだが、帰りは道の状態もよく元気良く帰っていった。(2/18 鶴里 4)

暗くなっているのに、一人で下校していた中学生に気を付けて帰るよう声をかけた。(2/19 肥田 7)

夕方 6時から 7時にかけて、街で出歩いている児童生徒は見かけません。この数か月はコンビニ等で集団で居座る少年達も見かけていません。(2/27 下石 2)

## = 多治見地区 =

今回は小泉中学校の校門に立ちました。気持ちよく自分から進んであいさつしてくれる子、「ご苦労さま」と一声かけてくれる子、心優しい子がたくさんいました。(2/9 小泉 5)

まんが喫茶「自遊空間」にいた男子高校生 2人に声をかけた。特に問題はなかった。(2/10 精華 2)

朝方の雪と日中も冷えた為か人通りも少なく、精華公民館で高校生 5名とピアゴで数名に出会った程でした。(2/10 南姫 9)

多治見中、養正小、多治見工業の児童生徒の元気なあいさつが聞こえ、さわやかさを感じた。昭和小児童が家の鍵を紛失し、兄を頼りに工業まで歩いて来ていた。保護者に連絡し、無事引き渡すことができよかった。(2/19 養正 1)

巡回場所での問題行動等は見られず。交流センターで保護者のお迎えを待つ数名の児童、パローでは保護者と一緒に買い物をする児童に声をかける。(2/19 根本 10)

公園、児童館で遊んでいる子どもたちは少なかったが、会う子どもたちはとても元気であいさつを返してくれた。児童館は落ち着いているとのこ

## 2月 声かけ活動の結果

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
指導人数	10	0	0	10
声かけ人数	775	107	229	1111
指導員参加者	66	32	40	138

と。(2/19 脇之島 12)

通学路で高学年の下校を見送った。福祉センターに皆で「ゲームをする。」と集まってきたが、早めに帰るよう声をかけた。(2/26 池田 6)

路上でキャッチボールをしていた小学生に近くの滝小グランドで行なう様に指導した。公園では中学生がサッカーをしていた為、広い場所で行なう様注意した。(2/27 滝呂 8)

道路でスケボーをしていた小学生 3名を注意した。(2/28 北栄 1)

### = 瑞浪地区 =

寒さが厳しいこともあるため、出歩く人は少ない。駅前も電車が到着する時刻でなかったためか、人がほとんどいなかった。(2/4 明世 H)

高校生は少なかったが、出会った 5名の子は声かけすると、あいさつを返してくれた。(2/6 土岐 C)

パロー裏 19号地下通路の壁にペンキの落書きあり。黒ペンキで 3ヶ所追加されている。ひどくならないうちに早急に消すよう対応をした方がよい。(2/14 日吉 J)

顔見知りになってきて、小さい声ながらあいさつを返してくれるようになってきました。一人で登校してくる生徒ほど声が小さいですが、必ず返してくれています。(2/18 陶 E)

### 不審者に目を光らせて <センターから>

2月に入ってこの地域での不審者情報が増えました。少年センターで把握している関係機関からの情報だけでも、2月に9件、3月も11日現在3件の情報が入っています。

女子児童や女子生徒の後を徒歩や車をつけてきたり、じろじろ見ている、しつこく話かけて来るといったものですが、話してくる内容が卑猥なものだったという報告もされています。男子児童も下校中、車中から盗撮されたという情報が2件あります。また、女子高生が歩いていると、後ろから来た男性が追い抜きざまに胸を触ってきたという事案もありました。

2月下旬には多治見市で、Sと名乗る男が朝、登校中の女子高生2名にしつこく話しかけてきたと報告されましたが、午後3時過ぎには小学校の職員室に来て「学校のパンフレットが欲しい。」と言ったり、児童の写真が載った掲示物の「コピーをくれ」と言ってきたそうです。また午後6時半頃、高等学校を訪ねてきて「朝出会った生徒に会えないか」と言ってきたようですが、引き取ってもらったとの報告がありました。アルコールが入っているようだったとのこと。

10月発行の「月だより」でもお願いしましたが、不審者情報を各班の先生方、PTAの方から班の皆さんへ共有して頂き、出来る限り声掛け活動に活かして頂けたらありがたいと思っています。よろしくお願いいたします。

\$\$\$\$\$

### 「君たちは日本の宝だ」

また少年たちの悲惨な事件が起きました。1997年、神戸の少年Aの審判を担当した元裁判官、井垣康弘さんは審判を振り返りブログで次のように綴っています。

『経験に基づき、社会が真剣に取り組めば、少年非行をほとんどゼロにすることも可能だと思うようになりました。(略)そのような子どもたちは、小学3年生のころから中学2年生に掛け、5年間に亘り、非行少年になるように育てられて行きます。』と、親の放任と教師の生きた指導がないと指摘されます。その結果、『読み書きそろばんが殆ど分からないままの子どもたちは、前途に何の希望も抱けず、自殺や引きこもりに進む子もいますが、一部は確実に非行に突き進みます。』と続き、そうした子どもたちの著しい特色は、親と教師のみならず、『社会の全ての大人から何のケアも受けていないことです。』と言われます。その上で次のように続けています。

『皆さんにお願いがあります。地元の人を誘って小学校3年生の授業参観に行ってください。授業が分からず「ポー」としている子が3人ほど見付かります。その子らと「仲良し」になってください。そしてその子らのニーズに沿ったケアをしてやってください。(略)』

少年院に送られた非行少年は、法務教官から抱きしめられ、「君たちは日本の宝だ」とささやかれて育て直しを受け、1年ほどで鬼の顔から仏の顔に変わりますが、子どもを非行少年に育て上げた上で、その更生を役人に任せて置けば良い問題だとは到底思えないのです。』

ひとこと